



「絆」

こんにちは。山本です。
私は KSCE で 2011 年から 2013 年まで
スタッフとしてお世話になっておりま
した。一旦スタッフから離れたので
すが、縁あってまたお世話になって
おります。

KSCE を離れている間も、定期的にご
連絡をいただいていた。また、イ
ベントにお誘いいただき、何度か参加
しました。
イベントの参加時、そして復帰して
から、以前からの利用生さん・スタッ
フも、新しく入られた方々も暖かく迎
え入れてくれました。またすんなりと、
今の KSCE の雰囲気にも馴染むこと
ができました。素敵な方々に恵まれた
なあ、ありがたい限りです。

また、私の本業は大学院生です。昨
年度は家庭の事情で休学しており、ほ
とんど学校へは行きませんでした。研
究科ごとに院生用の学習室があるの
ですが、当然メンバーは変わっており、
知り合いは誰もいない、という状態
で今年度は復学しました。長期にわたり
在学し、修士の 2 回生と学年は同じ
でも年齢はずいぶん年上となって
しまいました。

それでも院生とは、仲間として学
習室で仲良くしていただいています。
また、今年入学された修士の 1 回生は、
とても積極的に勉強熱心で明るく元
気な方なので、いい意味で私も影響
を受けています。院生仲間とは研究
のことを話したり、情報交換したり、
時に他愛のないおしゃべりをしたり。
修士論文を書き上げる、という同じ
志を持つ

仲間との関わりは、研究を進める
ヒントになったり、息抜きになったり、
支えとなる貴重な存在です。

私の通う大学院ではメインとサブで
指導教員が 2 人ついてくださいます。
在学中も休学中もずっと気にかけて
くださっていました。多大なるご迷惑
をおかけしたこともあります。それ
でも見放さずいつも気遣ってくださ
いました。私の愚痴や悩みを聞いて
慰め励まし、また研究の指導では
時にお叱りをいただきながら私を支
えてくださいました。現在、なんと
か修士課程修了の目途がたち、修
士論文を書き上げることができ
そうだと思うようになりました。
ここまで来られたのは、指導
教員の支えのおかげです。

そしてなにより、苦しい時に助
けてくれるのが友人です。最近よく
遊んでいる友人とは、1 年くらい
連絡を取っていませんでした。と
ころが、たまたまあるお店で再
会したことをきっかけに、また
連絡をとりあうようになりました。
気の合う仲間とは、ブランクがあ
ってもそれが気にならないほどに
おしゃべりを楽しむことができる
のだと実感しました。

改めてこうやって対人関係を書
き出してみると、日々、たくさん
の方々に支えられて生活している
ということがよく分かります。支
えていただいている分、私もど
こかで還元できているでしょう
か。この恵まれた人間関係に感
謝しながら、私も誰かの一助に
なれるような対人関係を作って
いきたいと思っております。

(山本 有里)

カウンセラーの目

読書感想文……かな……？

以前、ネタにしたアイザックアシモフ著の「はだかの太陽」を（改めて）読み終わった。

以前読んで記憶として残っていた内容と少し違っていた部分もあったが、物語の背景となっている「直接人と接する」ということが「異常な行為」とさえ思われている世界のようにすを改めて確認することができた。

物語の舞台は未来世界……人類が宇宙へ進出して、定住できる惑星を見つけて暮らし始めて数世代を重ねて、それぞれ独特の文化、生活様式を作り上げた世界……。

ソラリアという惑星で起きた殺人事件を捜査するために地球から派遣された警察官「イライジャ・ベイリ」が、いよいよ事件解明に乗り出そうという場面でも、なかなかまともな（地球風の）捜査ができない……ま、それでも、物語が展開する中で「対象者は必要と有れば直接面談に応じること」というお墨付きを手に入れて、さらに先へと物語が展開し始める。

で、直接面談を試みるが、これがなかなか大変な作業になる……。

自ら面談に応じた社会学者を自認するケモットという人物でさえ、しばらくすると直接面談に耐えられず、パニック状態になってしまう……その場面は、こんな調子……。

「まあ率直に言いましょう、ミスターベイリ。あなたの匂いがするような気がするんですよ」

ベイリは、痛いほど自意識過剰になり、思わず椅子に背中を押しつけた。「匂いかする？」

「まったく気のせいですよ、もちろん」とケモットは言った。「あなたに特有の匂いがあるのかどうか、それかどの程度強いものか、わたしにはわかりません。たとえ強烈な匂いがするとしても、わたしの鼻フィルターがそれをさえぎってくれるはずですよ。それでも、想像力が……」彼は肩をすくめた。

「わかります」

「もっと悪いことに。許していただきたいのですが、ミスターベイリ、人間がじっさい目の前にいると、まるでなにかぬるぬるしたものがわたしに触れてくるような感じがしてならないんです。わたしはたじろぐばかりですが、まったく気分が悪いのです」

ベイリはゆっくりと耳をこすって、腹だちを抑えようと努めた。けっきょく、これは、単純な事象に対する相手の神経症的な反応にすぎない。

……と、いうわけで、まともに会話が進まない……その上、会話の中でイライジャ・ベイリが「こうして、顔と顔を突き合わせて……」と口走ったとたんに、ケモットは椅子から転げ落ちて部屋を逃げ出してしまう。

そして、結局、立体映像でやり取りを再開することになってしまう。

そこでのやり取りは、こんな調子……。

クェモットは言った。「いくらお詫びをしてもしきれませんな、ミスタ・ベイリ。直接対面にはじゅうぶん耐えられると思っていましたが、わたしの思いこみだったようです。神経かひどくぴりぴりしてござりまして、あなたの一言が、いうなればわたしを追いつめたのです」

「どの一言でしょうか？」

「たしか、このように言われた。訊問するにあたって、顔と……」彼は舌で唇のまわりをすばやくなめながら、かぶりを振った。「これは口にはしたくないのです。こちらの言う意味はおわかりと思いますが。その一言は、もっとも衝撃的な光景を眼前に彷彿とさせた。つまりわれわれふたりの人間が呼吸している……おたがいが吐く息を吸いこんでいるという光景です」ソラリア人は身を震わせた。「嫌悪すべきこととは思いませんか？」

「そんなふう考えたこともありませんがねえ」

「不潔きわまる慣習でしょうが。あなたかその言葉を口にしたとき、その光景が頭にうかびましてね。けっきょくわれわれも同じ部屋にいる。あなたと面と向かっているわけではないか、あなたの肺にあった空気が、わたしのところまでやってきて、わたしの肺に入るのだと気づいたのですよ。わたしの敏感な感性が……」ベイリは言った。「ソラリアの大気のどこにでもある分子は、かつて何千という肺に入っていたものですよ。やれやれ！動物の肺や魚の鰓に入っていたものです」

「たしかにそうです」とクェモットは、自分の頬を悲しげに撫でた。「そのことも考えたくはないんですよ。しかしですな、あなたか現にあそこにおられて、われわれふたりが息を吸い、息を吐いているという状況には、密着感のようなものが感じられるんですよ。映像で対面しているという安堵感に驚くべきものです」

「わたしはまだ同じ家にいるんですがね、クェモット博士」

「そう、まさにそこなんですよ、この安堵感について驚かされるのは。あなたは同じ家におられる。それが立体ビューアーを使うだけで、状況はまったく変わるんですからね。少なくとも、他人とじかに会うのは、どんな感じがするものかということはわかりました。もう二度とごめんですね」

……と、いった状況で、こんな状態の人だけが暮らしている惑星で、「誰かが誰かを直接殴り殺す」という殺人事件が起きてしまったという物語……SF小説として古典作品に分類される作品だが、SFとしても推理小説としても、けっこうイケてる……価格1200円の文庫本というのがショックだったけど、思い切って手に入れて良かった。

(高石 公資)

ご支援のお願い

○ 寄付会員募集しています (随時)

寄付金額により当所活動「ものづくりかふえ」で作成しているものをお礼として送らせていただいたり、機関紙にお名前を掲載させていただいたり、活動報告を随時させていただきます。ぜひ、当所の活動をご支援くださいますようお願いいたします。ご希望の方、興味をもたれた方には京都教育サポートセンター事業所長がお伺いして説明させていただきます。

○ 広告掲載でご支援いただけませんか？

機関紙に広告・案内などを掲載していただくことでのご支援をしていただけませんか？

KSCE 通信 発行部数 500部 メール添付 カラー版配信13部 合計513部
当所へのご支援として通信への広告などを載せていただける団体・企業・店舗・個人の方、お気軽にお問い合わせください。

イベント紹介・報告

☆6月2日

お料理しよう

女子ばかりの参加者でした。ごはん的に食べられるクレープを作って食べました。とてもおいしくできました。



☆6月12日

学食 Walk

華頂女子短大に今回でかけました。おしゃれない雰囲気のカフェでの食事になりました。今後実施予定の集い場〇サークル活動化を考えています。



☆6月19日

ものづくりかふえ

画鋲にカラータイルをつけただけで、さすがにおしゃれになるタイルピンを作成して、手作り品のイベントなどで安く販売するための準備をしました。



☆6月20日

外で遊ぼう



お知らせ

- 夏休み限定 居場所利用（お預かりとして）コース
- 夏休み限定 学習サポートコース

のご案内

現在利用していない小学生・中学生と現在利用中（こちらも小中学生）で夏期講習的に学習を充実させたい方、宿題のサポートをして欲しい方夏休み限定サポートいたします。

当所のお試しとしてもお使いいただける限定コースになります。

両コース共通 限定コース登録料 3,240円（新規の方・2015年2月以降利用休止されている方は必要になります）

- 夏休み限定学習サポートコース

60分 1回2,700円 5回11,880円

80分 1回3,240円 5回14,040円

実施期間 7月18日土曜日～8月31日月曜日中の月曜日～土曜日（8月13日～16日を除く）9：40分～18：50の決まった時間より実施

※月曜日は学習サポートのみになります。居場所利用がお休みです。

- 夏休み 宿題サポートお預かりコース

利用料 期間中で 14,040円

（日曜日、月曜日や18時以降利用希望の方は相談に応じます。費用も相談になります）

利用可能日時 7月18日土曜日～8月29日土曜日中の火曜日～土曜日（日曜日・月曜日と8月13日～17日を除く）11：00～18：00 入退室は原則自由 居場所利用になります。

※ このコースは宿題などを強制的に時間を決めてさせることはしません。自分であることが前提で分からないこと困ったことをスタッフがサポートします。宿題以外に自習・スタッフや他の利用生と話したり遊んだり・本やマンガを読む（お互いの尊重ルールのみ必要です）など自由に過ごしていただけます。学習をきちんとさせたい、ご希望は上記学習サポートを取られたほうが確実です。

- 2015年度機関紙「KSCE 通信」 メール添付カラー版購読会員募集しています。

内部生・スタッフは無料・関係機関や団体も無料・その他は年額3600円のご寄付をお願いできればと思います。（紙面版購読会員は送料込で年額6600円のご寄付をお願いします（アポロ会員として登録いたします。現在会員の方は1年経過前にまたお知らせいたします）

お知らせ

- 理事長 兼 事業所長 南山勝宣 7月より復帰いたします。

4月下旬に緊急入院し、皆様にご迷惑とご心配をおかけしていた事業所長南山勝宣が6月24日にようやく退院することができ、療養をしながらではありますが7月より業務・活動に復帰することとなりました。2ヶ月もの間、皆様には様々にご迷惑をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。そして、復帰した事業所長を筆頭に今後もしっかりと運営してまいります、どうか宜しくお願いいたします。

- 2015年度アポロ会員 募集いたします。

アポロ会員は当所の通常利用や学習利用などはまだ希望しないが、レクリエーションイベントなどのアポロ活動には参加してみたいという方の会員制度です。会員資格は申し込まれた月の翌月から1年間となっております。アポロ会員には毎月の機関紙を送付します。2015年度よりアポロ会員費用は月額600円（年7200円・機関紙送付費用含）となっております。なお、この会員は実際にイベントに参加したかどうかではなく、参加権利の費用となります。ご了承ください。会員希望の方は京都教育サポートセンターまでメールか電話にてお知らせください。

- 京都教育サポートセンター の利用形態

- 個別指導学習サポート（フリースペース・フリースクール利用併用）コース
- フリースクールコース（居場所利用とイベントなどフリースクール事業参加可能）
- アポロ会員（イベントなどのフリースクール事業のみの利用）
- 家庭教師・家庭派遣コース（学習・相談・他人と関わるきっかけとしてなど）
- 各種相談・カウンセリングコース（本人・支援者）

- 京都教育サポートセンター の現況

- 利用生（休止中含む） 小学生 1名 中学生 3名
16歳から20歳 4名 21歳以上 8名 塾部門利用生 6名
- スタッフ 大学生 4名 社会人・主婦 12名

※ その他いろいろご支援を募集しています

- 教材・教科書・問題集・赤本などご寄贈ください
- フリースペース用マンガ・書籍・コミュニケーション系統ゲーム募集しています
- リサイクルフリマ用 衣類・雑貨・書籍など（売上を寄付金として運営に充当させていただきます）ご寄贈ください
- ボランティアスタッフ募集しています。20歳以上40歳代くらいまで。詳細はお問い合わせください。
- パンフレット等の配架を受け入れていただける方募集しています。
- その他 不要なもので寄贈してみたいもの（お問い合わせください）何でもお申し出ください。

集い場派生事業「集い場〇（サークル）」開始いたします

昨年度から実施している「集い場」ですが、自由に気ままに過ごせる居場所を利用生の有無を問わずいろいろな方に利用していただくことから始めました。この運営上で出てきた意見として「何をしているかわからない」「行ってなにをしいいかわからない」などをお聞きしました。「集い場」はまさにそこを目的として参加者内であることが決まり、実施していくなどに発展もしていくことを期待しているのですが、新規の方にはなかなか入りにくいというところもあるとのことで、することが決まった集い場をすることにしました。

代表の入院により準備が遅くなりましたのでまず7月を準備期間、8月から活動を順次開始していければと思います。この準備期間では皆様の意見などをお聞きして、どんなサークル活動を行っていくかを決めていければと思います。案を集め、実行できると思うものから順に実施する予定です。どしどし、してみたいことをお寄せください。

サークル活動ですのでただする、遊ぶだけでなく、そのサークル活動の内容をもとにMT（ミーティング）を実施し、話し合ったり交流する機会を設けます。

先月テスト的には「学食 Walk」クラブのプレ活動を実施し、華頂短大の学食に行きました。この活動はサークル化する方向で進めています。

また脳の活性化、ゲームをしながらのコミュニケーションに最適と考える健康麻雀をサークルとして実施しようと考えています。これは7月25日土曜日にプレ活動的に第1回を実施いたします。参加希望される方は前日までにお申し込みください。参加費は無料です。当所の利用の有無を問いません。

今後はまだこれだけでなく、いくつかサークルを実現したいと思いますのでこの7月にたくさんご希望をお寄せくださいね。またこの活動でわからないことや聞いてみたいことはお気軽に京都教育サポートセンターにお問い合わせください。

〇7月の通常集い場

7月18日土曜日 18:00～22:00

20時までに入室ください。20時以降参加者がいなくなった時点で終了とします。

この日は集い場参加者の18時以前の利用も可能です。

(利用生アポロ会員以外は200円)

気ままにのんびり過ごしてみませんか？

スタッフに話・相談に行くとかでも構いませんよ。

編集後記

今年も暑い夏がやってまいります。まだその前に梅雨の雨もありますのでじめじめとした体調管理の難しい時期でもあります。何をすることも日々健康にいたることがとても大事ですので栄養をしっかりとって睡眠をしっかりとって夏を迎えていきましょう。

(南山 勝宣)

2015年 7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6 ことばのがくしゅう	7	8	9	10 パレット清掃	11
12	13 ことばのがくしゅう	14	15 祇園祭前祭宵宵山へ行こう	16	17 ものづくりかふえ 祇園祭前祭 山鉾 巡行・神幸祭	18 集い場
19	20 ことばのがくしゅう	21	22 祇園祭後祭宵宵山に行こう	23	24 祇園祭後祭 山鉾巡行	25 集い場○ 麻雀部
26	27 ことばのがくしゅう	28	29	30	31	

7月

- 10日(金) パレット河原町清掃活動日
- 15日(水) 祇園祭前祭宵宵山へ行こう
18時事務所出発予定
参加費無料 アポロ事業
- 17日(金) ものづくりかふえ
アポロ事業
- 17日(金) 祇園祭前祭 山鉾巡行
(10時頃から事務所前通ります)
- 17日(金) 祇園祭神幸祭 19時から
20時くらい 事務所近辺通ります
- 18日(土) 集い場
18:00~22:00 利用料無料
※集い場運営日は参加者の方の18時以前の利用も可能です
18時以前の利用料 内部・アポロ会員無料 その他200円
- 22日(水) 祇園祭後祭宵宵山に行こう
18時事務所出発予定 アポロ事業
- 24日(金) 祇園祭後祭山鉾巡行
(10時頃から事務所前通ります)
- 25日(土) 集い場○ 麻雀部
15:00~18:00 第1回MT
参加者顔合わせと活動方針・予定の決定・参加費無料・事前申し込み必要
集い場○(サークル)の詳細はお問い合わせまたは別紙案内がありますので資料請求ください。(7月上旬完成予定)
- 7月1日~31日のKSCEの通常運営日
集い場○(サークル)の希望・運営意見交換期間・運営チラシ作成・配架期間
通信内7ページに案内記載しています。遅くなりましたがいよいよ始動します。
- 毎週月曜日 16時半~19時20分
ことばのがくしゅう
毎週日曜 お休み
- ※イベント・スケジュールは追加することもあります。
その場合はブログ・フェイスブックページ・事務所内に掲示・告知いたします。
フェイスブックページ
<https://ja-jp.facebook.com/ksce.apollo>
Twitter ID 「ksceleader」
ブログ http://ksce.jpn.org/?page_id=1234

KSCE 全般もしくは通信に関するお問い合わせ・ご意見は、下記までお願いします。

E-mail の場合 soudan@ksce.jpn.org、TEL/FAX の場合 075-211-0750、郵便は〒604-8005 京都府京都市中京区三条河原町東入ル恵比須町 439 早川ビル 6F 京都教育サポートセンター KSCE 通信係 まで。

2015年6月20日発行 特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター